

つくろう! 我が家の「マイ・タイムライン」

災害に強い自分, 災害に強い家族,

災害に強い地域をつくっていこう!

「家にいるときに, もしも台風や大雨によって危険な状態になったら, 自分や家族はどう行動すればいいのかな……。いざというときに, 慌てず安全に避難できるよう, 何も起きていない今こそ, 事前の準備やとるべき行動を記録しておこう。」それが, **マイ・タイムライン**です。

12月23日, 1・2年生を対象に, **マイ・タイムライン〈風水害対策編〉**の作成の仕方を学ぶ授業を行いました。

1 ハザードマップで自宅周辺の災害リスクを確認しよう!



2 大雨になりそうだよ!



3 災害が発生しそうだ!



避難スイッチの例

4 危険が迫ってきた!



5 災害が発生した!



スイッチ1: 風や雨がいつもより激しくなっている! 近くの山の様子が変わっている!

スイッチ2: 近くの川の水位が急激に上昇している!

うちの避難スイッチは～～だなあ。どう思う?



昨年の台風19号の発生時に、本校の生徒たちは率先して家族に避難を呼びかけ、指定避難所となっている市川南小中学校に避難しました。生徒たちの危険を察知し回避しようとするこの積極的な行動は、本当に素晴らしいものでした。

今回は、市川三郷町防災課が発行された「風水害・地震対策ガイドブック」を活用し、生徒によるマイ・タイムライン作成にチャレンジしました。冬休みには、そのマイ・タイムラインをもとに、各家庭の避難行動について話し合っていたいただき、防災への意識をさらに高めていけたらと思います。

生徒の感想

- *今日の授業で、自分の住んでいる地域にどのような自然災害が起きて被害が出るのかを知ることができた。自分の家は、川と山に挟まれているのでたくさんの危険がありそうだ。家族で話し合っ、もし災害が起きそうなどときには冷静に判断して避難できるように準備したい。
- *災害は、いつ、どこで、どんな状況の時おこるかわからないので、日ごろから対策や備えをしっかりとしていくことが大切であることを、改めて考えることができた。
- *被害はいつ起こるかわからないので、しっかりと対策をすれば命が助かる確率は高いと改めて思った。段階によって細かいプランを考えておけばすぐに避難できると思った。私は、あまりそういうことを家族で話し合わないの、しっかりと話をしていきたいと思った。
- *今日の学習で、避難場所はどこなのか、どういう行動をとるべきなのかをしっかりと考えることができてよかった。
- *授業を受けて、自分の家が大雨の被害を受けたときの状況がつかめた。日常の中から想定をして、いざというときにスムーズに行動できるようにしていきたいと思った。
- *緊急時にとっさに行動できる自信がないので、あらためて家族と話したい。
- *災害が起こったら自分はどんなことをしなければいけないかを考えるよい機会になった。浸水の被害がなくても、土砂崩れが起きるかもしれないということを想定して、自分の命を自分で守りたいと思った。家族で話し合っ、一人でいても安心できるようにしていきたい。
- *自分はあまり防災グッズを集めたり、家族と避難場所を考えることをしていないので、今回の話を聞いて、いつ災害が起きてもおかしくないようにしっかりと対策していきたい。

家族と話し合いたいこと

- *一人一人が自分の身を守ることができるよう、家族みんなでいろいろな手段を考えておきたい。近所の人とも助け合いながら、自助・公助・共助を大切にしていきたい。
- *避難ルートの確認、避難場所の確認、非常持ち出し袋の中身の確認、近所に助けが必要な人がいるか。
- *食料品や衣服などは十分に用意できているか。
- *自分一人だったときはどうすればいいか。非常用袋には何を入れておくか。
- *土砂崩れがおきたらどうするか。

**災害に強い自分、災害に強い家族、
災害に強い地域にしていこう!**